

## ハナミズキに誘われて

街を彩る華麗な花に見惚れて車から降りてカメラのシャッターを押した。春の柔らかい日差しを一杯に浴びた花は、真っ青な空に喜びを楽しむかのように咲いていた。それは淡いピンクのハナミズキであった。私の住む神戸市長田区の区木として、近年所々の街路樹にまた一般家庭でも見かけるようになった。

花期は4月末から5月上旬でゴールデンウィークの頃に純白、ピンク、紅色の花を咲かせる。花後は光沢のある楕円形の小さな実をつけ秋には赤く熟していく。晩秋は紅葉して冬は落葉する。

ハナミズキはアメリカを代表する木として1915（大正3）年に日本に入ってきている。この3年前に東京市長であった尾崎行雄が、アメリカ・ワシントン DC・ポトマック河畔へ桜（ソメイヨシノ）を贈ったことからの返礼によるものであった。

ハナミズキの花言葉に「私の思いを受けてください」「公平にする」「返礼」「華やかな恋」がある。私のイメージは「華麗なるアメリカの淑女」のように映っている。広大なアメリカ大陸にあって芝生をたたえた庭に太陽が燦々と降り注ぎ、華麗なる純白と淡いピンクの輝きは、春を迎えた喜びが各家庭に地域に広がる象徴の花ように思えてくる。

今ではハナミズキの名称は日本にあつて様々な形で使われている。地名に採用、歌のタイトル、ホテル、各種お店、グループ等、これらは立派に市民権を得た証なのであろう。撮影 2013 年春

